テーマ:母子およびその家族を支援する能力の育成を目指した取り組み―育児期の対象への健康教育の実施―

カテゴリー:教育内容(授業・演習・実習など)

1.学校概要:学校名 鳥取県立倉吉総合看護専門学校　　所在地 鳥取県倉吉市南昭和町15

学科名 助産学科 1学年定員数 16名 就業年限 1年

2.内容

母子およびその家族を支援する能力の育成に向けて、地域母子保健実習で実施している『育児期の対象への健康教育』について紹介する。

『育児期の対象への健康教育』の実施

☆子育て支援センターを利用している対象に対し、健康教育を学生1人1回、1テーマを担当して 10 分程度行う。

☆テーマは「子どものスキンケア」「卒乳について」といった子育てに関するものや、「乳がんと検診」「子宮頸がんと検診」など母親の健康に関するもの。

実施前の取り組み

学内演習

①4人ずつのグループで育児期に多い悩みやトピックスを調べ、学内演習での発表テーマを決定
②指導案と教材作成
③本番を想定して健康教育発表!

虫歯、SIDS、窒息、アレルギー

テーマの決定

各学生が実習で実施する健康教育のテーマ決定!
➡指導案と教材案を作成する

実施前のデモンストレーション

①2週間前:1回目のデモスト
指導案・教材修正
②1週間前:2回目のデモスト
指導案・教材修正

実習開始

発表時は、地域で保健師として活動経験のある実習指導員も参加し、対象のニーズに沿った内容となるよう助言を受ける。
実習指導員は、学内演習の段階から実施まで一貫して指導にあたる。

<学生の学び>

・子育て中の対象の悩みなどを想像して指導することの大切さがわかった。
・対象のニーズを把握してわかりやすく伝える方法を学んだ。



<学内演習の様子>

<教員の感想>

・育児期の対象への健康教育を実施することで、対象の悩みやニーズの理解が促された。また、学内で段階を追って準備をしたことで、より対象のニーズに沿った健康教育が実施できた。
・子育て支援センターには健康教育の実施予定表を掲示している。対象の中には、自身が興味のあるテーマの健康教育が開催される日にセンターを利用される方もあり、対象のニーズに沿った健康教育になっていると考える。